

□かわら版→Kawaraban means commercial news sheet of the Edo period. We named "TMC かわら版" after it.

ひとこと くらはち じゅんご 倉八 順子 さん (TMC広報委員長) こうほういいんちよう

グローバル社会、多文化共生社会といえ、国境を越えたヒト、カネの往来がもたらす光の面が強調されてきました。ところが、そのことが感染を一気に拡大することになり、緊急事態宣言という、非日常を私たちが共有することになりました。そして私たちは人々が連携して立ち向かう"思いやり"の大切さに改めて気づかされました。グローバル社会がもたらした"テクノロジー": ZOOMでの会議、DINGTALKでの授業もこの1か月で私にとって当たり前になりました。"思いやり""テクノロジー"を活用して、本当の多文化共生社会を実現できたと念じています。

5月はこんなことをやりました



- 5/9(土)市役所 208会議室で 運営委員会 (10:00～11:00) と 外国人相談窓口 担当者会 (11:00～12:00) を開きました。担当者会は行政書士会から長野、まつもと はせがわ かくし ほそえ きしもと きょうこう たくち ふるかわ つうやく 松本、長谷川の各氏、細江、岸本、姜宏、田口、古川 (通訳) 各氏が出席。オンライン相談の可能性について協議し、金ふくりじちよう 副理事長より、リモート会議 (ZOOM活用) の説明を受けました。
- 5/16(土)理事会はコロナ禍のため 書面決議を行いました。
- 5/23(土)10:00より臨時運営委員会をZOOMで開催。5/30総会のこと、及びリールー専門家相談会の日程について話し合いました。
- TMC定時総会 (5/3014:00 からAIM5F) はコロナ禍により会場が使えず 急遽中止になり、書面議決になりました。

【委員会で行っていること】

～5月の事業委員会より～

「事業委員会は、リモート会議をしています」

新型コロナウイルスで外出規制のため、5月事業委員会はインターネットによる「リモート会議」をしました。本年度の事業計画について、7～8人の参加者でテレビ会議をしました。始めは少しとまどいながらも、慣れてくると活発な意見が飛び交い、さながら実際に会って会議をしているような雰囲気でした。メールのやり取りと違い、互いの顔を見ながら話し合うことの大切さを実感しました。



♪ インドラ・ジャヤセイカラ さん

スリランカ出身。来日して20年になります。家族4人で子供たちは日本の学校に通っています。以前TMCのイベントでスリランカを紹介したことがあります。趣味は音楽を聴いたりカラオケを楽しんでいます。仏教徒です。

これからのイベント

- 6/1(月)から事務局はいつもの通り、月～金10:00～16:00まで開いています。
- 運営委員会、理事会、各委員会はしばらくリモート会議又はメールによる書面決議になるかもしれませんが、お知らせをご覧ください。



連絡先: TMC事務局 Tel./Fax 042-527-0310

E-mail: tmc@poppy.ocn.ne.jp

文責: TMC運営委員会